

# 長雨や集中豪雨の備えは 万全ですか



これから雨の多い季節を迎えます。長雨や「ゲリラ豪雨」と呼ばれる集中豪雨は、河川の氾濫や土砂災害による大きな被害をもたらします。気象情報には十分注意し、被害を最小限にするためにも、日頃からの備えを心掛けましょう。

大雨により三里塚線道路が冠水(平成29年8月)

## 家庭での備え

家庭では、次のような対策を取りましょう。

- 屋根瓦やブロック塀、外壁などを点検し、雨漏りの恐れがある箇所は修理する
- 雨どいや側溝を清掃し、詰まらないようにする
- 雨が強まる前に、浸水が多い場所に土のう、地盤の弱い斜面にブルーシートなどを設置する
- 市では、土のう・土のう袋・ブルーシートなどの配布は行っていません。

## 土砂災害への注意

崖崩れをはじめとする土砂災害からは、危険のある場所から離れることで身を守れます。

崖崩れによる土砂は、斜面の高さの2倍の距離または50メートル程度まで届くといわれています。次の現象に気付いたら、速やかに崖から遠くに離れ、市に情報を

提供してください。

## 土砂災害の前兆

- 斜面に亀裂ができる
- 小石が斜面からこぼれ落ちる
- 斜面から地鳴りが聞こえる
- 普段澄んでいる湧き水が濁る
- 斜面から水が吹き出す

県と気象台では、大雨により土砂災害の危険度が高まった際に、土砂災害警戒情報を発表しています。市ではこの情報を基に、危険性の高い地域に対して避難勧告などを発令します(3ペーシ下段)。

崖の近くに住んでいる人は、すぐに避難できるよう、日頃から非常持ち出し品を準備し、市が指定する避難場所や、一時的に利用できる近くの集会所などを確認しておきましょう。

## なりたメール配信サービス・防災行政無線でお知らせ

市では、いち早く防災情報を伝えるため、防災行政無線で自動放送を行っています。また、「なりたメール配信サービス」などでもお知らせしています。

## 防災行政無線

市内149カ所に設置されています。強風や雨などの気象条件や高層建築物などの周辺環境により、聞

き取りにくくなる場合があります。聞き逃したときなどは防災行政無線テレホンサービス(☎0120・383898)や、市防災情報のホームページ(Url: http://service.sugumail.com/harita/member/portals/)、防災情報ツイッター(Url: http://twitter.com/bousai\_narita)で確認できます。ツイッターは登録してなくても内容を見ることはできます。

### なりたメール配信サービス

防災に関する情報を、パソコンやスマートフォンなどに送信します。メール配信を希望する場合は、あらかじめ利用登録を行ってください。

### 配信内容(選択可)

- 防災情報
- 大気に関する情報
- 消防情報
- 防犯・安全情報
- 防災行政無線情報

### 登録方法

登録用メールアドレス(Info-narita@sgn.jp)に直接空メールを送信後、返信メールに記載されているURLから登録サイトにアクセス(または二次元バーコードを読み取ってアクセス)し、案内に従って



登録。迷惑メール設定をしている人は、事前に「sgn.jp」のドメインからの受信と、URL付きメールの受信を許可する設定に変更してください。

登録方法については、祝日を除く月～金曜日の午前9時～午後6時に受託会社バイザー(☎0570・055・783)へ問い合わせてください。

### 自主防災で高める地域の防災力

災害発生直後は、公的機関による緊急対応(公助)には限界があります。自分の身は自分で守る(自助)という考え方に加え、地域の

人同士で協力しながら防災活動に取り組むこと(共助)によって、被害を軽減することができます。地域の人が一体となって、まちを守る活動に取り組むための組織を「自主防災組織」といいます。現在、市内では、区・自治会・町内会などを単位として118の自主防災組織が結成され、避難訓練や救出訓練などの防災活動に取り組んでいます。

まだ結成していない区や自治会は、地域の防災力を高めるためにも、組織の結成を検討してください。

※くわしくは危機管理課(☎20・1523)へ。

## 土砂災害訓練を実施します

土砂災害に対する被害の軽減や拡大防止などを目的とし、訓練を実施します。

当日は、防災行政無線から訓練放送が流れますので、注意してください。

日時=6月9日(土) 午前9時～正午

地区=伊能地区(1～4区)

※くわしくは危機管理課(☎20-1523)へ。



訓練で応急手当てを学ぶ地域の人

## 避難情報の種類と取るべき行動

低

危険度

高

### 避難準備・高齢者等避難開始

- 避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予測される
- ・ いつでも避難ができるよう準備する
- ・ 身の危険を感じる人は避難を開始する
- ・ 避難に時間を要する人(高齢者、障がいのある人、乳幼児など)は避難を開始する

### 避難勧告

- 災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高い
- ・ 避難場所へ避難する
- ・ 地下にいる人は速やかに安全な場所に避難する

### 避難指示(緊急)

- 災害が発生するなど状況が悪化し、人的被害の危険性が非常に高い
- ・ 避難していない場合は直ちにその場所から離れる

#### 共通項目

- ・ 外に出ることで、かえって命に危険が及ぶような状況では、屋内のより安全な場所に避難する